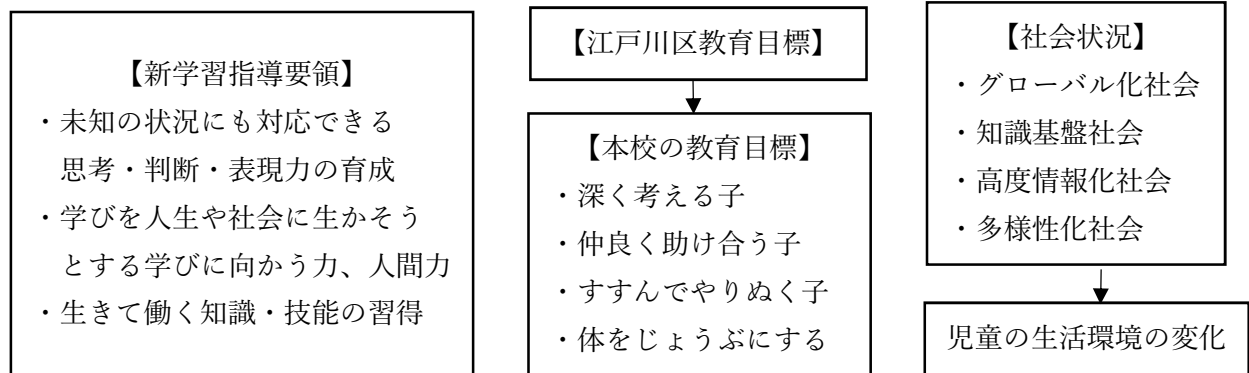


<研究構想図>



【昨年度までの本校のプログラミング教育や児童の実態】

- ・高学年では理科や算数の単元でプログラミング教育を数時間実施した。
- ・低～中学年では、キーボードの使い方や『viscuit』や『scratch』などのプログラミングソフトの使い方を学習した。
- ・タブレットでどの程度のことのできるのか確認、検討が必要。
- ・アンプラグドでのプログラミング学習の進め方について検討が必要。

学習に見通しをもって
論理的思考を活用できる児童の育成

【研究仮説】

- ・低学年から発達段階に応じたプログラミング教育を行うことで、6年間で系統立てて論理的思考能力を育てることができるだろう。
- ・教科を限定せず、多方面から論理的思考力を育むことで、多様なものの見方や考え方ができる力を育てることができるだろう。

【研究内容】

≪発達段階に応じた、 プログラミング教育の実践≫ ・アンプラグドでの授業の充実 ・各学年が活用できる教材の検討・実施	≪様々な教科での 実践的な取り組み≫ ・各教科独自の実践の提案 ・教材、教具の工夫や開発	≪紙面から ICT 化へ≫ ・学校便り、学年便り ・連絡帳 など ICT の有効的な活用法の検討・実施
---	---	--